

除湿器をフル活用



「歌舞伎」で活劇物を十才前半もありさん。出雲市の井村さん。

6月は「快適! インドア生活」

賢く梅雨対策

平年より10日遅れの5月18日に梅雨入りした沖縄地方。「これ」は少々傾向が統一しているが、雨の日に困るのが洗濯だ。育ち盛りの子どもを添える家庭では洗濯物をどう乾かすか悩まされる。また、家庭の力で対策などにも注意が必要だ。

D-1ヤシショップの屋内店や「百均」には梅雨対策用品が数多く並び、家電量販店では、快適さだけではなく「節電」を売り出されている。

宜野湾市の神村さゆりさんは2・5畳のキャンブ用品などの荷物を販売する納戸に除湿機を置き、引戸を閉め簡易の乾燥室として洗濯物を干していく。「納戸を洗濯干し場にする」とD-1室内に湿気があるのを感じていている。

神村さんは女性の視点を取り入れ住空間を設計する建築事務所「NOCO」(末吉町代表、那覇市田原)で1級建築士として活躍。乾燥室も設計時から家事を想定し取り入れた。働きながら3児を育てる神村さんは、毎日8⁺の洗濯機を2度回さないと通いつかない状況だ。梅雨の時期にも晴れ間を持つわけにはいかず、帰宅後に洗濯機を回し乾燥室を利用している。

神村さんは、家を造る際、「男性は『リビングを広く、子供の部屋も広い方がいい』と主張する」ことが多いが、家事をする女性の視点も取り入れて住み心地のいい家造りをしてほしい」と呼び掛けた。又・大城幸多

平年より10日遅れの5月18日に梅雨入りした沖縄地方。ここには少々傾向が続いているが、雨の日が続くのが洗濯だ。育ち盛りの子どもを抱える家庭では洗濯物をどう乾かすか悩まされる。また、家屋のカビ対策などにも注意が必要だ。

D-1ヤシショップの柴原店や「百均」には梅雨対策用品が数多く並び、家電量販店では、快適さだけではなく「洗濯干し」を売りにした除湿機が売り出されている。宜野湾市の神村さゆりさんは2・5畳のキャンプ用品などの荷物を取寄せる納戸に除湿機を置き、「洗戸を開め洗濯物を干していく納戸を洗濯干し場にする」として洗濯物を干していく。「アーバン内に湿気があるから」とお話ししている。

神村さんは女性の視点を取り入れ住空間を設計する建築士事務所「NOCO」(末吉町)代表、那覇市田口で1級建築士として活躍、建築室も設計時から家事を想定し取り入れた働きながら3児を育てる神村さんは、毎日8~9時の洗濯機を2度回さないと追いつかない状況だ。梅雨の時期にも晴れ間を持つわけにはいかず、帰宅後に洗濯機を回し「乾燥室を利用している」。

神村さんは、家についてのアイデアが少ない」と指摘する。快適に生活するために一家事をする女性の視点を取り入れて住み心地のいい家造りをしてほしい」と呼び掛けた。文・大城幸多

12面記載

「現状」は抜き取ってこと見になれば